

工事監査の結果及び意見について

地方自治法第199条第1項及び第4項の規定による工事監査について、富山市監査基準に準拠して実施したので、同条第9項の規定により、次のとおりその結果を報告する。

また、地方自治法第199条第10項の規定により、意見を提出する。

記

1 監査の対象

(1) 東富山体育館屋根及び外壁改修工事

ア 所 管	市民生活部 スポーツ健康課
イ 工事場所	富山市米田地内
ウ 契約日	令和6年6月26日
エ 工 期	令和6年6月27日～令和7年2月14日
オ 契約金額	124,905,000円
カ 請負業者	石坂建設株式会社
キ 工事概要	体育館の外部改修工事 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造平屋建て 屋根防水改修 約1,000㎡ 折板屋根塗装改修 約2,000㎡ 外壁塗装改修 約1,100㎡ 外壁サイディング張替え 約400㎡

(2) 上滝中学校体育館改築主体工事

ア 所 管	教育委員会事務局 学校施設課
イ 工事場所	富山市中滝地内
ウ 契約日	令和5年6月30日
エ 工 期	令和5年7月3日～令和6年12月13日
オ 契約金額	975,700,000円
カ 請負業者	近藤建設・ミヅホ建設・岡本組上滝中学校体育館改築主体 工事共同企業体
キ 工事概要	体育館改築工事 鉄筋コンクリート造一部鉄骨鉄筋コンクリート造

2 監査の着眼点及び実施内容

工事の設計及び施工が法令等に準拠し、適正かつ効率的に執行されているかどうかを主眼として、監査を実施した。

なお、監査には、工事技術に関する専門知識を必要とするので、公益社団法人大阪技術振興協会と工事監査技術調査業務委託契約を締結し、設計及び施工の技術面での調査を委託した。

監査の実施に当たっては、対象工事の所管課から監査資料及び設計図書等関係書類の提出を求めるとともに、関係職員及び工事施工業者から説明を求め、書類監査及び実地監査を行った。

3 監査の日程

令和6年10月8日から令和6年11月7日まで

4 監査の実施場所

- (1) 監査室
- (2) 各工事現場

5 監査の結果

監査の結果、概ね適正に執行されていたものと認める。

6 意見

今後の事務事業の執行について、次のとおり意見を提出する。

(1) 財務部 契約課

建設業法施行令第6条第1項において、予定価格が1件5,000万円以上の工事の見積期間は15日以上とされ、やむを得ない事情があるときは5日以内に限り短縮することができることとされている。また、その日数は、建設省厚発第177号平成5年5月31日官房長通知「入札・契約手続のより一層の透明性・競争性の確保について」において、土日祝日・夏休み・年末年始を含まず算定することが求められている。

東富山体育館屋根及び外壁改修工事の見積期間は、これらの算定方法によると12日間となっていた。この点について、入札事務を行った契約課からは、本市では、円滑に事務を執行するため契約スケジュールを定めており、やむを得ない事情があるとして、見積期間は原則13日としていると回答があった。

しかし、やむを得ない事情がある場合を常態化することは問題と考える。昨今「働き方改革」が提唱されている趣旨も踏まえ、法令を遵守した対応となるよう検討されたい。

(2) 市民生活部 スポーツ健康課

次のとおり検討されたい。

- ①コスト縮減効果や改修工法採用の評価表を作成されたい。
- ②設計図（竣工図）について、特記仕様に、外壁サイディングや金属工事の項を追加されたい。

- ③設計図（竣工図）について、軒樋の防水改修方法、ドレンの納まり図面を添付されたい。
- ④総合施工計画書に提出予定日付きの工種別施工計画書一覧を添付されたい。
- ⑤総合施工計画書において、総合仮設計画図に体育館利用者動線を記載し、工事用車両動線との干渉を防ぐ第三者災害防止対策がわかる図面とされたい。
- ⑥総合施工計画書に熱中症対策を記載されたい。
- ⑦総合施工計画書（工種別施工計画書含む）にページを振られたい。
- ⑧各種施工計画書については、汎用的な内容だけでなく、施工部位や施工方法を当該現場に合わせたスケッチや図で可視化し、当該現場特有の施工計画書にされたい。
- ⑨体育室屋上の軒樋の防水改修時、厚さ 30mm の断熱材を樋底に敷くため、軒樋の排水容量が小さくなっている。また、近年の豪雨の状況も鑑み、改修後の軒樋の排水容量が問題ないか雨量計算をして確認されたい。
- ⑩下屋の屋上防水は全面水張による漏水試験が望ましいが、最低でもドレン廻りの漏水試験を実施されたい。軒樋の防水の水張試験は、防水改修方法が難しい納まりになっているので、軒樋全面水張による漏水試験を検討されたい。
- ⑪施工業者に工事月報提出時に提出予定日の入った工種別施工計画書一覧も提出させ、工種別施工計画書の作成状況を報告させられたい。また、監督員は、工程に即した施工計画書の作成状況を監理することを検討されたい。
- ⑫体育室屋上軒樋の防水改修部は、立ち上がりと底部の防水方法が異なるため、経年劣化や熱膨張・収縮の繰り返しなどで、立ち上がりと底部の継ぎ目の部分が切れる恐れがある。メンテナンス計画を立て、当該部分の劣化状況等、重点的に点検されたい。
- ⑬改修工事を行った場合は、その改修方法が効果的であったか、維持管理の容易性や経年劣化などを長期的にモニタリングし、今後の同種改修工事のノウハウを蓄積されたい。

(3) 教育委員会事務局 学校施設課

ア 改築した体育館の延床面積は、文部科学省の「公立学校施設費国庫負担金等に関する関係法令等の運用細目」に記載の学級数に対する必要面積を基準として比較すると、1.4 倍となっている。市では、バスケットコート 2 面及びバドミントンコート 6 面、生徒の安全のための面積等の確保などにより仕様を検討しており、また本工事においては地域住民からの要望も考慮したと説明を受けたが、当該中学校は生徒数が減少傾向にあるうえ、今後更に減少していくことが見込まれている。本市の財政状況を鑑みても、体育館の規模設定には疑問が残る。

学校整備においては、児童生徒数の推移、施設の社会性（利用方法・利用度）、建物自体のライフサイクルコストを検討し、適正規模の整備計画を立てられたい。

イ 次のとおり検討されたい。

- ①鉄骨建て方施工計画書で詳細は記載されると思われるが、総合仮設計画図においても、使用する最大のクレーンの機種と作業半径・吊り能力の記入を検討されたい。
- ②足場計画書のB-B'断面図 cX7 通りの断面において、足場枠巾幅 914mm から幅 1524mm に拡幅しているが、(一社) 仮設工業会の「くさび緊結式足場の組立て及び使用に関する技術基準」では、「拡幅した層の上部及び下部の前踏み側の全スパンに壁繋ぎを設置する。」とある。次期プロジェクトでは、足場材メーカーに確認し足場計画されたい。
- ③各種施工計画書については、汎用的な内容だけでなく、施工部位や施工方法を当該現場に合わせたスケッチや図で可視化し、当該現場特有の施工計画書にされたい。
- ④骨材のアルカリシリカ反応性試験で「無害でない」骨材を使用した部位は、容易にトレーサビリティできるようにコンクリート品質管理結果一覧表に、使用生コン工場名、使用骨材名を記録し保管されたい。
- ⑤屋上防水については、最低でもドレン廻りの水張試験をされることを検討されたい。
- ⑥施工業者に、工事月報提出時に提出予定日付きの工種別施工計画書一覧も提出させ、工種別施工計画書の作成状況を報告させられたい。また、監督員は、工程に即した施工計画書の作成状況を監理することを検討されたい。
- ⑦アリーナ屋根から樋への連続した防水層は、経年劣化や熱膨張・伸縮の繰り返しによる防水層の切断の恐れがあるため、重点的に点検されたい。
- ⑧体育館の利用状況、光熱費、維持管理費についてモニタリングされたい。